

鳥羽正雄 （註） 林制史家、城郭研究家。明治二十二年十一月十三日東京市生れ、昭和五十四年四月十八日歿（一九九一—一九七九）。大正十二年東京帝國大學文學部卒。農商務省、農林省嘱託として山林局の本邦林制沿革調査に従事、『日本林制史資料』編纂に關與。また、城郭研究家として知られ、第一高等學校在學中から大類伸の指導を受け、關係論文多數を新聞雜誌に發表。宮内省・陸軍省嘱託、神祇院考證官、神宮官立學館教授を務め、大正大學、日本大學にも出講した。

著書に、『日本城郭史』（大類伸共著、昭和十一年刊）、『日本の城』（昭和十五年七月二十五日創元社「創元選書」）、『森林と文化』（昭和十八年二月十日大日本出版社峯文莊）、『郷土史研究の調査と方法』（諸家合著・日本産史地理學會編、昭和十九年六月十日地人書館）等。

